

大阪武育会が15周年の記念研鑽会



長、植芝守中道主から「関西地区を越えて、今日お集まりの方々とは是非交流を深められて、またさらに合気道の良さを確認しあって、しっかりと稽古していきましょ」と挨拶があった。そして来賓紹介の後、研鑽会の稽古に移った。

稽古では、植芝守中道主は入身・転換の基本動作のことに至るの技が繋がっていることを意識して稽古す

ることを強調して指導され、約一時間半の稽古を皆しっかりと集中して稽古に取り組んだ。

閉会の言葉を、江川邦夫大阪武育会副理事長が述べ、閉会し、その後会場をホテル日航大阪に移し、植芝道主を囲んでの懇親会が行われ、二百五十名参加した。懇親会は和やかに散会した。

◇ 故小林師範は昭和二十一年に本部道場入門し、開祖のもとで約十年間稽古した。昭和三十一年以降は、開祖の指示でヨーロッパにも派遣された。

武育会は先達の残したものをしっかりと繋ぎ、現在国内のみに留まらない大きな合気道の輪を築き、十五周年を迎え今日に至っている。

を展開された。参加者の眼差しは真剣そのもので、最後まで稽古に励み引き締まった講習会となった。

講習会では様々なポイントがあったが、どんな時にも常に姿勢を正しく保つた植芝先生の言葉が参加者の心に強く残り、今後の稽古で意識したいものとなった。

その後、会場を「ダブル」に移し、約七十名が参加する直会が行われた。この直会も合気道大宮道場の市塚師範を偲ぶ会として実施し、植芝先生のお言葉に続き、県連副会長の合気道と光道場川路師範のご挨拶、県連常任理事のA&P合気道石垣道場の石垣師範の献杯で開会となり、最後は県連常任理事である合気道自然館の吾妻師範のお言葉でお開きとなった。

岩手県で地域社会指導者研修会開く

平成二十六年年度岩手県(盛岡市)地域社会指導者研修会(主催)公益財団法人日本武道館、全国都道府県立武道館協議会、公益財団法人合気会、岩手県公立武道館協議会・共催)岩手県教育委員会、公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団・後援)日本武道協議会・主管)岩手県合気道連盟は七月十二、十三日の両日、岩手県宮古道館(盛岡市)で行われた。本部道場から小林幸光本部道場指導部師範と、小谷佑一師範が中央講師として派遣された。また、地元講師を日高浩師範(岩手県合気道連盟会長)と竹鼻義徳師範(岩手県合気道連盟副会長)が務めた。参加人数は九の道場団体から七十六名であった(岩手大学合気道部を含む)。

十二日は午前十時から開会式が行われ、日高師範は「岩手県の合気道場は沿岸にお言葉で、道場正面の床の間に掛け軸として表示しております。清野先生の守護神であると同時に、私も千葉合気道館の守護神でもあります。」

清野先生の遺された合気道の精神を継承し、さらに次の世代に残していくことも私どもの使命であり、努力致して参ります。

長い間の御指導戴き、本当に有難う御座いました。(千葉合気道館代表 高橋剛慶)

柏で市民錬成大会

七月六日(日)、合気会本部道場指導部師範 金澤威先生をお迎えして、柏合気会 柏市民錬成大会を実施いたしました。当日は、梅雨の晴れ間の中、午前十時から二時間、汗を流しながら、参加者は、柏合気会会員及び他団体参加者、また広報やインターネットを見てこられた初心者も参加

合気道大阪武育会十五周年記念研鑽会は七月六日、桃山学院大学総合体育館(特設道場)で開催された。

植芝守中道主を招いての研鑽会は十二時半から十四時十五分まで行われ、参加団体数は武育会から二十六道場、十三大学、武育会以外で関西地区から五十四団体、参加人数は約五百人となった。

研鑽会に先立ち、上村和康大阪武育会理事長より開会の挨拶、主催者挨拶として木村二郎大阪武育会会

第三十二回埼玉県合気道連盟合同講習会は、七月六日、合気道本部道場・道場長代行の植芝充央先生をお招きし、さいたま市大宮武道館で開催された。来賓には埼玉県合気道連盟会長長武正公一氏代理の山梨雄基氏が来訪した。

今回の合同講習会は、埼玉県合気道連盟に多大な貢献をいただいた合気道大宮道場の市塚勇師範が七月二日に逝去されたことを受けて、追悼講習会という形で行われた。講習会場は、折しも故市塚師範が普段から稽古をされていた「さいたま市大宮武道館」であった。十四時から約二時間の稽古が行われた。冒頭で市塚師範のご冥福を祈り、参加者全員で黙祷を行った。参加した埼玉県合気道連盟加盟団体三十三、百七十六名の参加者たちは、故市塚師範のお写真の前で精一杯の稽古に励んだ。

植芝充央先生は、合気道基本動作の入身・転換・転身の基本動作から技が成り立っていることを確認した後に、基本技中心に稽古

を展覧された。参加者の眼差しは真剣そのもので、最後まで稽古に励み引き締まった講習会となった。

講習会では様々なポイントがあったが、どんな時にも常に姿勢を正しく保つた植芝先生の言葉が参加者の心に強く残り、今後の稽古で意識したいものとなった。

岩手県で地域社会指導者研修会開く

平成二十六年年度岩手県(盛岡市)地域社会指導者研修会(主催)公益財団法人日本武道館、全国都道府県立武道館協議会、公益財団法人合気会、岩手県公立武道館協議会・共催)岩手県教育委員会、公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団・後援)日本武道協議会・主管)岩手県合気道連盟は七月十二、十三日の両日、岩手県宮古道館(盛岡市)で行われた。本部道場から小林幸光本部道場指導部師範と、小谷佑一師範が中央講師として派遣された。また、地元講師を日高浩師範(岩手県合気道連盟会長)と竹鼻義徳師範(岩手県合気道連盟副会長)が務めた。参加人数は九の道場団体から七十六名であった(岩手大学合気道部を含む)。

十二日は午前十時から開会式が行われ、日高師範は「岩手県の合気道場は沿岸にお言葉で、道場正面の床の間に掛け軸として表示しております。清野先生の守護神であると同時に、私も千葉合気道館の守護神でもあります。」

清野先生の遺された合気道の精神を継承し、さらに次の世代に残していくことも私どもの使命であり、努力致して参ります。

長い間の御指導戴き、本当に有難う御座いました。(千葉合気道館代表 高橋剛慶)

柏で市民錬成大会

七月六日(日)、合気会本部道場指導部師範 金澤威先生をお迎えして、柏合気会 柏市民錬成大会を実施いたしました。当日は、梅雨の晴れ間の中、午前十時から二時間、汗を流しながら、参加者は、柏合気会会員及び他団体参加者、また広報やインターネットを見てこられた初心者も参加

者、総勢六十名の盛大な錬成大会となりました。

稽古は経験者と初心者のグループに分かれて、ご指導いただきました。経験者稽古は、片手取り転換、片手取り四方投げ(立技、半身立技)、座技正面打ち一教、正面打ち小手返し、片手取り二教、両手取り天地投げ、座技呼吸法と、基本技を中心に丁寧にご指導いただきました。特に、技

をかける時の足の位置や足運び等、普段特に意識することなく行っていることをご指摘ご指導いただき、普段の何気ない稽古こそ、繊細な注意力をもって行わなければならないことを学びました。また、初心者稽古は、合気道の理念のお話、受身の基礎と片手取り四方投げ等、細やかな解説で指導、初心者の合気道に対する興味もより増したように思っています。

これからの稽古に今回教わったことを生かして、日々精進していきたいと思

独協大 創部50周年記念式典

七月二十六日、獨協大学合気道部創部五十周年記念式典が植芝守中道主をお迎えして、同大学内の天眞館道場にて行われた。

第一部として植芝守中道主による特別講習会が開かれ、現役学生二十四名とOBの約三十名が参加、見学者は約四十名。植芝道主は入り身、転換の体捌きから基本技を中心に指導された。講習会の後、植芝道主による総合演武で式典は締めくくられた。

特別講習会の後、場所を移して創部五十周年記念祝

賀会が行われ、須藤正則OB会長は「五十周年をお祝いすると共に百周年へ向けてOBの皆さま健康に留意してやっていきましょ。ただ手を抜くと部員数が減ったりしてしまいます。大学のご理解、合気道部を創部された一期の方々の情熱と同時に、各代現在に至るまでの学生の皆さんが真摯に合気道に取り組んでこられたからだと思えます。」と祝辞を述べた。

その後、各代のOBの挨拶と共に現役学生の抱負が述べられ、祝賀会は終始和やかに終わった。

師・清野裕三先生を偲んで

四月に合気道を立ち上げ、普及させて参られました。また、昭和五十九年七月千葉合気道連盟が発足し、初代会長として、千葉県の合気道の普及に御尽力を頂いて参りました。

昭和四十四年四月に道場の開設のご報告を本部道場に訪れた際、植芝吉洋丸二代道主のお導きを頂いて、翁先生の休まれているお部屋に通されて、道場開設の御挨拶を致した時の翁先生

行っていく所存である。(埼玉県合気道連盟事務局長 佐々木淳一)

に多いのですが、中村師範の『おい、みんな頑張れ』という声が聞こえてきそうです。この研修会は岩手県の道場が一堂に会しており、十分に交流していたら、岩手県は一枚岩であるという強力な結束を持つたいものです。この研修会で教わることを大事にして、それぞれの道場に持ち帰って復習出来るようにして下さい。二日間が実り多い研修会になりますように祈念します」と挨拶。そのあと実技指導に移り、午前中に小林師範、午後は日高師範と竹鼻師範による講習がそれぞれ行われた。十三日は午前中に日高師範と竹鼻師範、午後は小林師範による講習がそれぞれ行われた。小林師範は逆半身片手取り、正面打ち等からの各種の基本技法を中心に指

小林師範による指導

者、総勢六十名の盛大な錬成大会となりました。

稽古は経験者と初心者のグループに分かれて、ご指導いただきました。経験者稽古は、片手取り転換、片手取り四方投げ(立技、半身立技)、座技正面打ち一教、正面打ち小手返し、片手取り二教、両手取り天地投げ、座技呼吸法と、基本技を中心に丁寧にご指導いただきました。特に、技

をかける時の足の位置や足運び等、普段特に意識することなく行っていることをご指摘ご指導いただき、普段の何気ない稽古こそ、繊細な注意力をもって行わなければならないことを学びました。また、初心者稽古は、合気道の理念のお話、受身の基礎と片手取り四方投げ等、細やかな解説で指導、初心者の合気道に対する興味もより増したように思っています。

これからの稽古に今回教わったことを生かして、日々精進していきたいと思

市塚勇氏(合気道大宮道場長、前全日本合気道連盟理事、元埼玉県合気道連盟理事長)七月二日逝去。享年七十六。



師・清野裕三先生を偲んで

四月に合気道を立ち上げ、普及させて参られました。また、昭和五十九年七月千葉合気道連盟が発足し、初代会長として、千葉県の合気道の普及に御尽力を頂いて参りました。

昭和四十四年四月に道場の開設のご報告を本部道場に訪れた際、植芝吉洋丸二代道主のお導きを頂いて、翁先生の休まれているお部屋に通されて、道場開設の御挨拶を致した時の翁先生

行っていく所存である。(埼玉県合気道連盟事務局長 佐々木淳一)

に多いのですが、中村師範の『おい、みんな頑張れ』という声が聞こえてきそうです。この研修会は岩手県の道場が一堂に会しており、十分に交流していたら、岩手県は一枚岩であるという強力な結束を持つたいものです。この研修会で教わることを大事にして、それぞれの道場に持ち帰って復習出来るようにして下さい。二日間が実り多い研修会になりますように祈念します」と挨拶。そのあと実技指導に移り、午前中に小林師範、午後は日高師範と竹鼻師範による講習がそれぞれ行われた。十三日は午前中に日高師範と竹鼻師範、午後は小林師範による講習がそれぞれ行われた。小林師範は逆半身片手取り、正面打ち等からの各種の基本技法を中心に指

小林師範による指導

者、総勢六十名の盛大な錬成大会となりました。

稽古は経験者と初心者のグループに分かれて、ご指導いただきました。経験者稽古は、片手取り転換、片手取り四方投げ(立技、半身立技)、座技正面打ち一教、正面打ち小手返し、片手取り二教、両手取り天地投げ、座技呼吸法と、基本技を中心に丁寧にご指導いただきました。特に、技

をかける時の足の位置や足運び等、普段特に意識することなく行っていることをご指摘ご指導いただき、普段の何気ない稽古こそ、繊細な注意力をもって行わなければならないことを学びました。また、初心者稽古は、合気道の理念のお話、受身の基礎と片手取り四方投げ等、細やかな解説で指導、初心者の合気道に対する興味もより増したように思っています。

これからの稽古に今回教わったことを生かして、日々精進していきたいと思

市塚勇氏(合気道大宮道場長、前全日本合気道連盟理事、元埼玉県合気道連盟理事長)七月二日逝去。享年七十六。

宣誓を終えて



高橋綾太君(左)と高梨悠さん

高橋綾太(小六)
 僕は小学校一年生の時から合気道を始めました。今年で六年目になります。始めたきっかけは母にさそわれ体験に行ったことで、僕にもできると思い、始めました。最初は遊び半分で行っていましたが、二年三年になると新しい技をやりたいようになっていき、まじめにやるようになりました。

この六年間で錬成大会に参加したのは四年間です。その四年間の中で一番に残ったのは、今年の錬成大会です。理由は、このような大会で誓いの言葉を言ったことはなく、努力賞も今までとったことがなかったからです。特に一番うれしかったのは本部道場の人を選んで聞いた時です。そんな大役が僕に廻ってくるなんて思ってもいなかったからです。でも、それがきっかけでがんばろうと思っ

た。最初は遊び半分で行っていましたが、二年三年になると新しい技をやりたいようになっていき、まじめにやるようになりました。最後に本部道場の先生の演武を見て、あんなふうにできるようなりたいなと思いました。これからも合気道を続けていきたいです。

高梨悠(中二)
 私が合気道を始めたのは小学校五年生の時で、今年で四年目になります。まだ稽古の年数は少ないですが、合気道の稽古を通して技はもちろん、礼儀や心構えなども教えていただきました。その中でも私が合気道をやっていて一番に付いた事は、何事も動じずに冷静に行動する事です。私は合気道を始めるまで人見知りで、大勢の人の前になると緊張していつも逃げていました。でも合気道を始めてから呼吸法などを続けたり、たっさんの仲間と一緒に稽古する事でだんだんと積極的に行動が出来るようになりました。今では学校の行事にもたくさん参加し、人前に出るも落ち着いて行動が出来るようになってきたのも、私は合気道のお陰だと思っています。そして

今回の全日本少年少女錬成大会では、二千五百人の人の前で誓いの言葉を述べるといふ大役を務めさせて頂くことが出来、とてもうれしかったです。当日のリハーサルで何度も二人で息を合わせて練習しました。本番が近づいてくるとだんだんと緊張してしまいましたが、それと同時に日本武道館で誓いの言葉を述べることが出来るという喜びにも変わっていました。本番では今までの練習の成果とたくさんの人の応援があり、無事に成功できました。今後はこの経験を活かし、さらにステップアップして合気道を続けていきたいです。



植芝本部道場長代行



保坂元参議院議員



古藤大会副会長



尾崎実行委員長



全日本少年少女合気道錬成大会から





ブルガリアの講習 会に約150名が参加

私(小林)は七月三日から九日まで、ブルガリアのN・A・U(ナショナル・合気道・ユニオン、ニコライ・イヴァノフ五段)の夏季講習会のため、黒海沿岸のバルナ市に派遣された。講習は同市内のナショナルスポーツパレスに於いて開催され、一日二回の講習(各一時間半)を私が担当した。会員は同会員の他にBAF、BAA、ルーミア、モルドバの会員を含め、約百五十名が参加した。稽古は初心者、有段者各



指導する小林師範

レバノンのベイル ートで講習会開く

私(藤巻)は、七月二日から八日まで、レバノン・アイキドウ・フェレシヨンの講習会のため、ベイルートを訪れた。空港では団体代表のポール氏が迎えてくれた。三日午後、レバノン警察



藤巻師範とレバノン警察

における指導と演武を依頼されたので、ベイルートで稽古するレバノンの方七名と共に市内の警察を訪問し、四十分ほど指導、演武を行い、様々な質問を受けた。同日夜八時より、在レバノン日本国大使館を表敬訪問した。大塚聖一特命全権大使とは、以前カナダで総領事をされていた頃お会いしており、武道に対して理

わせて行われたが、皆真剣に取り組んでおり、同会幹部のM・トドロフ氏、ストラフコ氏の協力もあり、充実した講習を行えた。また、最終日には昇段審査が行われ、初段五名、二段四名、三段五名が各々昇段した。全員昇段から良くと稽古している様子で、その動き全般に指導者の合気道に対する真剣な姿勢を感じ取ることが出来た。

講習会を終えソフィア市に移動、Z・ステファン氏のご厚意により、市内を散策、寺院、史跡等を拝観した。私にとってブルガリアは四回目の訪問である。以前に比べ、他の団体とも友好的に親交を計っている様に思われた。来年は植芝充央本部道場長代行が訪問するにあたり、皆で盛り上げようと言う熱意が強く感じられた。(小林記)

話ある大塚大使と、当時の話に花が咲いた。翌四日、そして五日の両日、モン・ラサール体育館にて開催された講習会には、十一道場から五十八名が参加した。一時間半の講習を四回行ったが、参加者の約半数が白帯の初心者だったため、基本動作から基本技そして応用技という順に講習を進めた。稽古の中はいくつかも質問があり、皆

オランダ夏季講習会に120名参加

私(佐々木)は七月十一日から十七日までオランダのカルチュール・アイキドウ・ポンド・ネーデルラント(以下CABN)主催の夏季講習会に派遣され、稽古と昇段審査を行った。講習会は十二日から十六日までオランダ中部の町・カストリカムにある複合体育施設で行われ、オランダ国内十一都市から約百二十名が参加した。稽古は各日六コマずつ行われ、連日午前最初と午後最終の二コマ

集中して稽古していた。講習終了後、二名が初段の審査に合格。代表のポール氏によると、現在レバノンには隣のシリア等の影響もあり、講習の参加者は減っているが、続けている人は大変熱心なことである。(本部道場指導部師範 藤巻宏)

名古屋の一修会が 特別講習会を開催

一修会(名古屋守山区、代表中山栄一)は、七月二十八日、名古屋守山スポーツセンターに、桂田英路本部道場指導部師範を迎えて、一修会特別講習会を開催しました。

講習会は前半に少年部、後半に一般部の講習会が行われ、愛知県内だけでなく、北海道、静岡、岐阜、奈良からも大勢の方にお越し頂き、総勢三十八団体二百八名が参加しました。少年部では、受身や膝行などの基本動作に始まり、一教、入身投げの基本技を指導して頂き、厳しい中に

の稽古を私が担当し、他のコマはCABNの指導責任者であるエルネスト・ラウアス氏とラルモンド・ブライト氏、そしてシャルル・カインツ氏とマルセル・レイジャース氏が交代で担当した。参加者の半数以上が若い白帯の会員達で占められた稽古は、終始緊張感を保ちながらも活気溢れる明るい雰囲気の中進められ、有段者達もこれに呼応するかのよさに懸命に汗を流していた。

また、十三日の午前には少年部を対象とする特別稽古も行われ、約二十名が参加した。オランダでは地域によって学校の夏休みが異なる為多くの児童が参加できなかったが、参加した子供達は終始笑顔で元気に稽古に励んでいた。十五日の午後には昇段審査が行われ、初段を二名、二段を三名、四段を一名が受験し、全員が合格した。(本部道場指導部師範 佐々木貞樹)

も楽しい講習会となりました。また、一般部では、相手の中心に体重を乗せ崩していく事を説明されながら、片手取り、正面打ち、横面打ち、両手取り、諸手取りを指導して頂きました。一般部の参加者は三十代から四十代が大半を占め、最高気温三十四度を物ともせず、熱気に満ちあふれた



桂田師範による指導

合気道探求48号

7月20日発売

- 道主対談 中村麻美(画家)
- ふるさと案内 鹿兒島
- 第五十二回全日本合気道演武大会
- 技法講座 座技正面打ち、入り身投げ、小手返し
- 合気道人生 藤井克利
- 師範の横顔 大江勝、本澤俊三
- 日本武道の中の合気道 加来耕三
- 「教える」を考える 貝塚茂樹

連を原因として時折硬さが見られたものの、皆真剣な態度で審査に臨んでいた。CABNは最近十年間で総会員数が四百名から六百名に増加しているとのことであった。増加した要因として、常に会員間での話し合いの機会を設けて積極的な多様な会員の意見を取り入れ、初心者の会員にも開かれた雰囲気の中で活動できるよう模索してきたことが功を奏しているのではないかと指導者達は語っていた。(本部道場指導部師範 佐々木貞樹)

講習会となり、普段交流する事が少ない同年代の参加者と、合気道を通じて交流を深める事ができました。(中山栄一)

新潟県合気道連盟は、六月二十九日、新潟市中央区「新潟アルサー」において事故の発生防止と発生時の適切な対処法の習得を目的に平成二十六年事故防止対策研修会を開催した。参加者は連盟加盟十二団体三十七名。今回は、脳神経外科の専門医である新潟リハビリテーション病院の小股整先生

より「頭部外傷発生時の見極めとその対処法」として、脳震盪や硬膜下血腫の症例や判断方法、処置の講義をいただいた。次に星野はり灸整骨院の星野英慈先生から怪我等の応急処置の対処法として、RICE処置(安静・冷却・圧迫・挙上)の講義をいただいた。講義後、参加者から講師に対し、具体的な事故内容の対処法や、これまでの認識で勘違いしていた点等について活発な質疑が行われた。研修終了後、参加者アンケートを取りまとめたが、脳震盪の重篤性と経過観察の重要性が理解できたこと、怪我等の患部へのアイシングのやり方が大変参考になった等の回答があり、脳神経外科専門医から直接話を聞くことができたことと合わせて、研修会自体は大変好評であった。新潟県連盟としても、本年

全日本合気道 演武大会DVD

内容：植芝守央道主の総合演武をはじめ、師範指導者演武
時間：一八〇分
価格：四、五〇〇円(税、送料込み)
予約受付開始：八月十日(金)より
発売開始：九月二日(月)より
申込み方法：名前、住所
E-mail: o.aikido@ki.nd.ocn.ne.jp

兵庫で錬成大会と実技指導者講習会
平成二十六年兵庫県少年少女合気道錬成大会・実技指導者講習会(兼・第六十八回兵庫県民体育大会)は、七月六日、兵庫県立武道館・クローリー道場にて開催され、桂田英路本部道場指導部師範が指導にあたった。主催は兵庫県合気道連盟(吉田司会長)。

前半の錬成大会は、午後一時から二時まで、少年少女三十三名が参加。受身、

▽関昭二指導部師範は、八月十五日から二十三日まで、フランスの講習会に、九月三日から八日までブラジルの講習会に派遣される。
▽菅原繁指導部師範は、八月十五日から二十三日まで、イギリスの講習会に派遣される。
▽桜井寛幸指導部師範は、八月二十七日から九月二日までブルガリアの講習会に派遣される。
▽伊藤眞指導部師範は、八月二十八日から九月二日までメキシコの講習会に派遣される。
▽藤巻宏指導部師範は、九月四日から九日までニュージーランドの講習会に派遣される。

残暑お見舞い申し上げます

会 長 小野 浩
副 会 長 藤谷 護人
幹 事 清沢 昭一
山 嶋 武
中 村 文子
松 田 平三郎
齊 藤 秀雄
石 田 耕造

ブルネイ巡回指導

私(伊藤)は、六月二十一日から二十七日まで、ブルネイ巡回指導に派遣された。

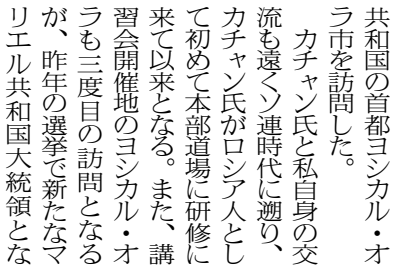
六月二十二日深夜羽田発のシンカポール経由便で、ブルネイに着いたのは翌二十三日の午前十時。ブルネイ訪問は今回初めてで、イスラム国であるというところ、また豊富な石油資源があることで知られている。空港で合気魂(アイキタマシ)道場責任者のサフツ二段、ブルネイ連盟会長のアマッド氏の出迎えを受けた。サフツ氏は元バトミントンのナショナルチームメンバーで、二〇〇六年頃から、マレーシア合気会のサポートを受けて合気道の稽古を始めた。合気魂道場は首府バンダルスリブアワンのビル四階フロアーに畳をひいて稽古をしている。ビルのオーナーが格闘技好きで、一階にはムエタイ、ブラジルの柔術の道場も開か



ブルネイ巡回指導のメンバーと指導員(前列左から)のグループ写真。

れている。午前・午後各三時間の稽古を計六回行った。サフツ氏の他二段が二名、初段が一名、初心者会員が八名ほど、またマレーシアからも二名が参加した。会員はまだ少ないが、参加者の稽古態度はとても熱心で、うだるような暑さの中稽古に励んでいた。女性会員の一人は国際線パイロットで、メルボルンから到着した空港から直行で道場に駆け付け、稽古に参加していた。今後サフツ氏の子弟が通う学校での合気道指導も始まる予定で、徐々に

インドネシアのジャカルタでセミナー(森)は六月十二日から十六日までインドネシアのジャカルタを訪問しIAI(インスティテュート合気道インドネシア)のセミナーを指導した。この団体は以前、杉並合気会の加藤弘師範が定期的に指導していた団体で、加藤師範逝去に伴い、今回初めて本部から指導者を招いてセミナーを開催することとなった。講習会はインドネシア国軍本部内の道場にて十四



森師範の四方投げ

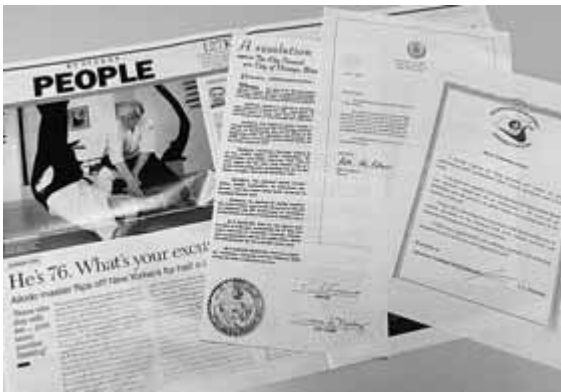
十五日西日、二時間の稽古が三回行われ、その後昇段審査が行われた。講習会の参加者は約百名、審査は五十一名が受験し、全員合格した。インドネシアでは軍の地位が非常に高く、稽古場所となった軍の本部は普通なら一般の人が入れないような場所だそうである。今回はIAIが長年、軍や大統領警衛隊に合気道を指導してきた関係で特別に使用できることとなった。審査が終わって直ぐに空港に向かいジャカルタを離れることとなったが、ジャカルタ特有の大渋滞の中を

下道場やロシア合気会合気道連盟傘下の道場から約百名が参加した。基本的に冬の寒さ対策を重視した作りであるこの国の施設は、今の時期には少々暑く感じられるが、それでも各参加者は流れる汗を拭いながら六日午前中まで必死に稽古していた。六日午後には審査を行い、新たな有段者も大勢生まれ、この先のロシアでの合気道の飛躍を期待させてくれた。帰国に先立って、経田地のモスクワで在ロシア連邦日本大使館の目下部長陽介参事官(広報・文化担当)にもお会いする事が出来、この先の合気道を含めた武術関連諸行事に対して積極的なご支援を頂けるとの有難いお言葉を頂く事が出来た。(本部道場指導部師範 栗林孝典)

ロシアのマリエル共和国で講習会(栗林)は七月二日から八日まで、ロシア中央心館(アレクサンドル・カチャン会長)主催講習会指導のため、ロシア連邦マリエル共和国の首都ヨシカル・オラ市を訪問した。カチャン氏と私自身の交流も遠くソ連時代に遡り、カチャン氏がロシア人として初めて本部道場に研修に来て以来となる。また、講習会開催地のヨシカル・オラも三度目の訪問となるが、昨年の選挙で新たなマリエル共和国大統領となり、首都であるヨシカル・オラを始め、観光による街の活性化を目指し、新たな施設が次々に作られ、街は活気に溢れていた。講習会は三日夜から市内中心部にある複合スポーツ施設内体育館で開始され、ロシア国内各地の中心館から

軍の車に乗り、サイレンを鳴らしての交通ルール無視の緊急車両扱いの走行で何とか無事に飛行機の時間に間に合うことができた。もし、通常の運転ならば大渋滞の中、間に合うことはなかったであろう。日本ではできない貴重な体験であった。(本部道場指導部師範 森智洋)

在米山田師範に感謝状



各方面からの感謝状と掲載されたビジネス誌

海外での合気道指導が五十年を迎えた山田嘉光師範に対し各方面から感謝状が贈られた。ロシア・国家合気道評議会の会長キリエンコ氏は二十年にわたる口

シニアでの合気道普及活動を称え、またニューヨーク市長は「NY合気会五十年にあたり日本伝統文化をニューヨーク市民に深く浸透させた功績に対し」、さらにシカゴ市長は「合気道というユニークな武道をシカゴおよび米中西部で紹介し広めた功績に対し」山田師範に惜しめない賞賛を贈った。さらにニューヨークのビジネス誌「クレイレンズ・ニューヨーク・ビジネス」は最近号で、一ページをさいて山田師範の五十年にわたる活動をビジネスの成功者として合気道の説明とともに紹介した。



栗林師範の四方投げ

道場が講習会開く(私(伊藤)は、ブルネイでの巡回指導に引き続き、六月二十七日から七月三日まで、シンカポール道場講習会に派遣された。ブルネイからシンカポールまで、はわずから一時間のフライト、チャンギ国際空港で、パーニー・アリソン夫妻の出迎えを受けた。パーニー氏は警察官で、ネパールからの警察要員の採用担当者

シンガポールの道場が講習会開く(私(伊藤)は、ブルネイでの巡回指導に引き続き、六月二十七日から七月三日まで、シンカポール道場講習会に派遣された。ブルネイからシンカポールまで、はわずから一時間のフライト、チャンギ国際空港で、パーニー・アリソン夫妻の出迎えを受けた。パーニー氏は警察官で、ネパールからの警察要員の採用担当者

でもある。多民族国家のシンカポールはネパールからの警察要員採用を歴史的に続けており、ネパール警察部隊(ケルカ警察)では合気道が正課として採用されている。ケルカ部隊は小柄ながら精悍で、合気道の稽古も職務と直結している事もあり、非常に熱心に行われている。パーニー氏はケルカ部隊内の指導とは別に、シンカポール一般会員を対象とした道場を主催しており、両方の道場で稽古と審査を行った。また今回アウリオン四段の主催する正気塾道場会員も道場での稽古に参加し、合計約八十名が汗を流した。審査では初段から四段まで、十四名がすべて合格した。ケルカ道場では、昨年は子供を含め二百名近くが参加したが、今回は一級および有段者に限定した為、参加者は六十名程であったが、より稽古に集中することが出来た。インドネシア、UAEからも数名が稽古に参加した。(本部道場指導部師範 伊藤真)

- (6面から) 藤岡雄介、八島千恵◆県立広島大学=園田葵◆関西大学=増瀬晃児◆広島修道大学=白水和重◆広島大学=安岡遙◆広島大学霞合気道部=石川涼子◆香川大学=阿部冬航◆滋賀医科大学=酒井奎太郎◆松山大学=原田昂大◆城西大学=並木敏和◆新潟大学=石井春奈、小林大地、栢森隆輔、秋山諒◆千葉大学=鈴木直人、有村雛子、岩井隆暁、河村茜、向井雅徳、山口和希、渡辺祐子◆大阪教育大学=山崎光一郎、祝智大◆中央大学=岡田啓太朗、近久憲太、渡邊祐哉、伊坂空、大城陽菜、小早川みづき、中川静香◆東京農工大学=高橋優実、石垣佳樹、長島伸、山崎基◆奈良教育大学体育会合気道部=野島彩加、切石有美◆日本大学合気道部=田中希実、中村友哉、前田風沙◆立命館大学=二宮正樹◆鹿児島大学医学部歯学部合気道道場=岡谷知枝◆AUSTRIA=M.Wagner, M.Doetsch, N.Skulsky, G.Reiter◆GERMANY=A.Kremer, D.Wilkowski, P.Otto, A.Griegen, R.Fedorov, M.Garbs, E.Gruitrooy, J.Schroeder, F.Gautier, M.Azirovic, D.Moraiu, H.Munsky, M.Pavlidis, A.Fertig, B.Surin, M.Sandak◆BRAZIL=M.Uehara, D.Kroker, C.Iwakiri, J.Andriuguetto, M.ErichsenJr., F.Ura, A.Adelino, B.Buzzulini, E.Hayashi, M.Moreira, J.Martins, J.Costa, E.Dias, D.Araujo, R.Alves, M.Buaes, M.Carvalho, M.Goncalves, M.Rodrigues, J.Garcia, M.Sato, R.Pedrini◆ROMANIA=A.Micu◆URUGUAY=K.Ferreira, P.
- Alonso, F.Nin, F.Lanzilotta, L.Portela, G.Anchorena, M.Aguirre, A.Sirio◆SWE-DEN=J.Ericson, C.Ekstrand◆RUSSIA=J.Derjavina, A.Korepanov, A.Medvedeva, V.Shangin, V.Rytin, R.Romanov, R.Neftulaev, S.Shilov, Y.Titov, O.Emelianov, E.Karasev, I.Smirnov, I.Zernov, A.Duman-aev, L.Fedorova, N.Karnaukhova, M.Pospelov, I.Pundel, S.Babich, A.Barinova, A.Korotkov, A.Korotkova, E.Ivashkina, V.Evstigneev, E.Ludnikov, A.Tatarov, V.Barishev, M.Mikhailov, E.Nazarenko, D.Kostov, I.Kokoyanina, K.Kokoyanin, S.Lbov, N.Gladkov, I.Vybornov, E.Korzin, S.Gonoshilina◆U.S.A.=T.Yee, H.Henkin, S.Gerken, E.Edwards, B.Cagle, T.Berardini, A.Vanzo, G.Welsh, P.Vulliemini, L.Miele, B.Mercer, M.Meier, A.Huber, P.Holohan, H.Hasanov, R.Gotink, D.Gillanders, S.Boucher, E.Fernandez, M.Buen-viaje, M.Bickford, V.Katifori, M.Ovcharenko, J.Garrido, M.Dehne, G.Flint, W.Coenen◆EGYPT=A.Sharkawy, A.Sherif, M.Redda, A.Twab, A.Zakaria, M.Adel, A.Mohamed, H.Ahmed, M.Atya, H.Ahmed, H.Fauad, F.Kirollos, O.Ragheb, A.Ghaffar, M.Mohamed, A.Ibrahim, R.Nasr, M.Nasr, M.Zaid, K.Mahmoud, H.Farag, R.Fattah, M.Kenzey, W.Mohamed, H.Radwan, A.Aldabas, M.Zafan, K.Karim, T.Gomaa, T.Bughrara, I.Tamer, T.Mohamed, M.Mohamed, S.Gomaa, A.Faress, A.Saleh, S.Samir, M.Sawy, M.Hanna, S.
- Nagydy, Y.Nader, M.Diab◆SPAIN=N.Casino, F.Holguera, S.Montesinos, J.Sala, D.Perez, M.Leon, P.Segundo, G.Sala, J.Torre, I.Ramirez, M.Echeverria, U.Echeverria, A.Isasa, J.Conde, O.Mancisidor, M.Roldan, I.Marticoarena, O.Blanco, P.Bal-lerteros, V.Izal, G.Garcia, D.Zanalote, J.Aparicio, M.Ruiz◆INDONESIA=A.Saroni, A.Latief, A.Feen, A.Priatama, A.Sagita, A.Lestario, A.Fitrangraha, Bonadi, C.Wijaya, E.Yatirin, Firman, G.Widiasana, H.Purnomosidhi, H.Saranga, Haryanto, H.Oey, H.Zaini, I.Rohman, I.Solihin, I.Fajar, M.Putra, M.Hidayat, M.Ayal, P.Nugroho, R.Bataki, R.Rizky, S.Yustitia, S.Saputra, S.Suryadi, S.Wibowo, Y.Saputra, Z.Rosyid, Z.Hafidz, R.Darmawan◆MEXICO=S.Barrera, L.Deveaux, I.Fernandez, L.Ochoa◆POLAND=M.Rzysduch, J.Czekaj, C.Trojanowicz, L.Paprocki, S.Sendlak, L.Kaczmarek, G.Kraszczuk, P.Muziol, L.Beben, G.Kardacki, M.Luciminski, M.Gawrysiak◆NETHERLANDS=M.Huisman, F.Tran◆BELGIUM=R.Est, P.Picrit, I.Acker, M.Borowicz, P.Cornelissen, J.Clerck, O.Roche, B.Decker, A.Salberter, N.Roisin, D.Laval, G.Mattei, G.Giambaresi◆ISRAEL=G.Zmodiak, S.Hershkovitz, G.Dror, I.Mazaki, Y.Gottlieb◆ARGENTINA=L.Durante, M.Previgliano, J.Martin, E.Belen◆TURKEY=H.Yeten, D.Altinboga, F.Yalav, A.Negulescu, T.Sabanoglu, E.Zaim, B.Gu-
- mushisar, K.Sarsilmaz, A.Gunalp, A.Tugrul, E.Sengul, S.Kucuk, O.Tasdan, M.Konuksever, C.Ovguer, E.Uyanik, H.Akyuz, D.Unalan, T.Alacali, F.Yildiz, G.Avunya, O.Tuysuz, U.Babatas, O.Tuna, M.Arac, C.Buyukhamurkar, D.Karci, H.Arac, A.Ozkan, A.Kucukkomurler, A.Tonga, N.Turgut, M.Sahin, F.Kiskanc, A.Akin, Y.Nalcioğlu, M.Alkan◆SERBIA=D.Karacic, B.Mrkonic, R.Zdrnja, S.Pilipovic, D.Zivanovic◆BULGARIA=A.Todorov, N.Nikolov, A.Shtipkov, D.Vasileva, V.Popov◆SINGAPORE=H.Tamang, R.Gurung, K.Pun, T.Na◆ITALY=R.Remesal, A.Carta, M.Ciani, P.Deliperi, A.Flore, G.Leoni, P.Madau, C.Zobeni, T.Raina◆UKRAINE=R.Rubanov, S.Kalashnik, I.Kryvous, P.Koshel, M.Kravchenko, D.Kondrat◆SWITZERLAND=J.Dupont, E.Zufferey, M.Pettoello, N.Daigger, S.Seligmann, M.Peyer◆GREECE=K.Rangelov, D.Kazis, A.Gioka, G.Astarras, V.Nikolaou, K.Tasoulas, C.Stathopoulou, G.Liotas◆U.K.=D.Taylor, P.Evans, J.Mosbeux, P.Emmerson, S.Beresford, K.Robertson, J.Connock, A.Brown, M.Moon, K.Bradwell, D.Warden, S.Warden, D.Parkin, R.Kidd, J.Sweet, J.Yee, S.Todd, C.Butcher, J.Mitchell, J.Reith, N.Bootle, G.Bruce, D.Lowe, A.Vidion, A.Groendahl, S.Nott, J.Power, A.Wilby, F.Weisser, S.Koerner, C.Nopper, O.Sagner, M.Raadts◆U.A.E=R.Ameri, Z.Hammad, S.Hamdan

各道場の昇段者

6月15日～
7月14日
(公財)合気会登録

【四段】

◆本部道場＝酒井レテシァ◆愛川合気道会＝村山浩一◆沖縄合気会＝八木政徳、山崎毅、J.Singleton◆月窓寺道場＝P.Roberto◆合気道北平塾＝三好明◆長崎合気道会＝田中俊彦、川下善文◆小山合気会＝早川俊夫◆城南合気会＝三岡直仁◆正心会＝矢代真弓◆川崎市役所＝吉井孝大◆船橋合気会＝秋山一夫、辻厚◆大阪武育会＝T.Manca◆天之武産合気塾＝村上勝八、重松千里◆土井道場＝宮尾聡一◆板橋区合気会＝斉藤弘毅◆苫小牧合気会天心塾＝土田和明◆合気道黒石塾＝中尾純子◆合気道昭和道場＝山田幸雄◆緑水会＝上原利實◆蓮田合気会＝菅野一也◆萬葉塾＝米川莉永◆合気道京都＝E.Mares◆紫水会松風塾＝富岡保人◆央名会氣守道場＝倉橋聡美◆七曜会＝児島奈津子◆合気求和会前沢道場＝錢祥富◆東海合気会＝田中睦◆東京大学＝平山佳代子◆東京農工大学＝真下景◆BRAZIL＝N.Maruyama、A.Gomes、T.Galvao、A.Tavares Jr.、J.Silva、L.Silva、A.Akizawa、V.Sousa◆U.S.A.＝P.Agrios◆SWEDEN＝A.Kamph、S.Isakov、M.Ohlsson◆GERMANY＝A.Weissbacher、T.Lowecke、T.Hanelt◆RUSSIA＝M.Kobez、Y.Tchuzenkov、P.Rezanov、A.Fetisov、E.Druzhinskaya、A.Piddubrivnaya、B.Bairam◆INDONESIA＝L.Indrakusuma、B.Komara、W.Nurita、S.Purnomo、D.Wijaya◆TURKEY＝S.Azak、B.Atilganoglu◆SERBIA＝D.Komazec、J.Kovacevic◆SINGAPORE＝U.Lungeli、B.Rai

【参段】

◆本部道場＝西本良行、エリック・ドレイケン◆合気道国際平和文化交流倶楽部＝S.Sen、Z.Denis◆三澤塾＝白石雅弘◆尾張合気会＝水田周作、田村義昭◆合気道稽古会美健会＝藤村博一、池田健夫◆J1合気会＝星野明浩◆合気道越谷道場＝S.Mai◆沖縄合気会＝島尻久美、亀山明子◆合気道神武錬成塾＝石川俊、長澤正明◆合気道北平塾＝片山徹、二階堂郁子、三浦亮、瀬川和宏◆江戸川合気会＝天野利男◆合気道佐久道場＝柳沢あけみ、村上和也◆長崎合気道会＝椿井雄次、上野由美、清山和美、北島利彦、関盛男、中村武夫、池下一彦◆小俣合気道会＝林靖久、小林和弘、柚木仁美、鎌田明彦、D.Martins◆小林道場＝殷戈军、李红文、韩婕、于晓飞、宋崢、B.Santoso◆祥平塾＝安武隆信、衛藤由美、寺田真美◆かながわ合気道会＝片羽義之、鈴木達丸、豊島広人◆正心会＝村瀬雄紀◆清明塾＝玉本昌司◆川崎市役所＝水口伸介◆船橋合気会＝田中智之◆祖師谷合気会＝川辺有恒、河合英二◆多摩合気会＝荻原光彦◆大阪合気会＝井上祐輔、北尾誠一、小谷浩次◆大阪武育会＝A.Halm、R.Luciano◆大塚道場明道館＝高橋雄也◆中央区合気会＝石井敏明◆天之武産合気塾＝藤岡早苗、六島直美、宮崎崇文◆よみうりカルチャー横浜＝蓮沼敏行◆一修会＝真野明人◆城山合気会＝常盤昇◆成城合気道クラブ＝真知田吉則◆AUSTRIA＝A.Cserveny◆BELGIUM＝R.Marterne、C.Dechevres◆SWEDEN＝A.Almqvist、E.Wennstrom◆U.S.A.＝K.James、L.Reed、J.Newman、S.Stanton、P.Sakellariadis、N.Rodriguez◆EGYPT＝M.Bakkar、M.Elsadek◆BRAZIL＝M.Cano、R.Dziedzick、S.Secundino、E.Oncins、R.Doi◆SPAIN＝M.Lopez、M.Ferradanes、J.Roman◆INDONESIA＝S.Adirata、B.Widyarta、I.Nurcahyo、Gordon、Hospicius、T.Pemayun、P.Adnyana◆POLAND＝P.Bogacz、J.Wrzescz◆TURKEY＝O.Yil-

maz、I.Acar、S.Unalan、A.Yetkin、A.Sergici、Y.Timbir、K.Kaya◆SERBIA＝S.Ilic、N.Purkic、I.Koljensic、A.Prostran、P.Damjanovic◆RUSSIA＝A.Sidorov、G.Kalashnikov、A.Starostin、V.Elagin、D.Grinchenko、N.Bratchenko、E.Akimov、A.Timashev、R.Ibragimov、E.Tremba、V.Gladyshev◆BULGARIA＝K.Kanev、P.Boyadjiev、I.Argilashki、D.Antonov、A.Angelov◆GERMANY＝K.Enz、J.Gerstenhofer、J.Gravenhorst、H.Harigel、S.Werner、A.Jacobson、U.Bornemann、N.Hempelmann◆SINGAPORE＝M.Gurung、L.Gurung、S.Shrestha、B.Tamang、D.Shrestha、W.Yim◆UKRAINE＝E.Lashko◆SWITZERLAND＝T.Donze◆ARGENTINA＝新垣盛明◆GREECE＝V.Doxakis、E.Giakoumakis

【二段】

◆本部道場＝鈴木裕之、星祐貴子、桂木昌子、佐々木みさき◆友志館＝アツシャ薫里、中島由紀◆合気道国際平和文化交流倶楽部＝S.Maxim、Z.Daria、B.Igor、S.Roman◆三澤塾＝武川広明、深沢昌格◆JFEシビル合気道部＝高橋利幸◆合気道京都＝J.Shinall◆沖縄合気会＝島袋弘子◆合気道神武錬成塾＝森政見、四ツ目智◆熊野塾＝D.Claire、A.Nikolay、T.Lionel、A.Lauri、S.David◆江戸川合気会＝前田直樹◆港区合気会＝松山将大、杉谷直樹、楊柏琪◆合気道佐久道場＝跡部峰夫◆長崎合気道会＝目良卓也、福井雅士、山川洋一、太田龍成◆銀座おとな塾産経学園＝永塚弘毅◆志木合気会＝武厚子◆小山合気会＝小暮充◆小林道場＝A.Prayitno、D.Kong、D.Yanto、M.Hamdi、J.Santoso、W.Saputra、K.Mulya、Misnan◆祥平塾＝今林明宏、有吉昭吾、松本正幸、白水康平、狭間田淳二、S.Mcguire◆城南合気会＝柳田保雄◆城東誠和会＝塚田佳彦◆深谷合気会＝秦哲郎◆相生会神戸三田道場＝南健司◆かながわ合気道会＝寺岡順吉◆正心会＝井上聡子◆大泉合気道同好会＝村山千鶴、秋田秀剛◆川崎市役所＝大久保純一◆船橋合気会＝橋高隆◆多田塾＝萱原正嗣◆大阪合気会＝二宮健生、長谷川昭洋◆大阪武育会＝中下祐希、砂川政弘、C.Spampinato、D.Aliano、C.Murciano◆浜風合気会＝西宮健二◆中央区合気会＝奈良佳広◆天之武産合気塾＝灰谷祥、白石朱美、西田恵子、松本浩和◆流山合気会＝遠藤裕子◆よみうりカルチャー横浜＝松尾伸晃◆よみうりカルチャー京葉＝今井奈津絵◆八千代合気会＝吉田千香◆府中合気会＝三宅啓司◆豊中正泉寺道場＝田中奈智子◆厚木海自基地＝松原康浩◆合気道黒石塾＝山本尚子、藤田哲、古賀照光◆合気道昭和道場＝堀鈴世◆今治合気会＝村上孔介◆合気道と光道場＝松崎翔一◆央名会氣守道場＝鈴木篤◆合気道平成会＝中井満貴◆成城合気道クラブ＝讓原貴、田島文一◆道学館＝半貫淑也、尾島光太郎◆守清館＝梁川恵明、榎原進◆新川塾＝井上誠◆つくば合気道会＝鈴木智子、守能智美◆東海合気会＝田中碧◆千住合気会＝水上隆志◆愛媛大学医学部＝小林侑華子、藤石琴◆中央大学＝成願加奈、鈴木貴裕、兼松岳◆明治大学体育会合気道部＝高田竜乃介、安藤大騎、新海裕美◆AUSTRIA＝R.Hiebl、M.Andrae、J.Bustillo◆NETHERLANDS＝G.Leeuw◆BELGIUM＝P.Kurzawa、D.Pruadere、C.Fafchamps、Y.Bekari、L.Fructuoso、H.Fikry、W.Daele◆ROMANIA＝R.Nitescu◆SWEDEN＝N.Maksimovic、C.Ernsten◆U.S.A.＝D.Kahane、T.Lamont、N.Brewer、C.Whaley、S.Richer、G.Eder、R.Eder、A.Joe、C.Lee、R.Suhr、R.Coenen、D.Welsher、J.Maldonado◆

LAOS＝O.Ribolzi◆RUSSIA＝A.Morozov、V.Anfinogenov、A.Prokofyev、I.Chabaev、A.Polyakov、V.Matusov、A.Klunyy、S.Vorobyev、N.Palyarush、N.Skomorohova、A.Domonov、E.Vereshchagina、A.Varnavsky、O.Shevchenko、S.Kolmakov、S.Sibirtsev、S.Serikov、G.Renner、M.Biryukov、A.Antonenko、A.Popko、R.Vakhitov、A.Ivashkin、O.Timofeev、V.Nechaev、E.Trifanova、S.Filippov、R.Gadzhiev、A.Piranashvilli、P.Ryazantsev◆EGYPT＝H.El-sayed、E.Samy、M.Hamed、M.Mobdy、A.Raof、S.Gendy、M.Mahmoud、H.Galal、A.Farghali◆BRAZIL＝E.Lima、E.Goncalves、L.Beugger、C.Elmdjian、M.Batalha、M.Svartman、M.Batista、H.Ciocler、M.Silva、B.Costa、P.Dannemann II、C.Dannemann、D.Silva◆SPAIN＝F.Aguilar、D.Morales、R.Esteban、A.Marra、O.Trueba、R.Heinrich、M.Castillo、G.Ranero、L.Rubio、M.Rubio、J.Romana、J.Gomez、J.Sala◆INDONESIA＝P.Sulendrakusuma、R.Setyagraha、A.Wibowo、A.Oktovianus、Robinson、D.Jaya、Alexander、E.Antonius、A.Wiharta、Chendra、T.Santiadji、M.Kelana、A.Saputra、Kessari、A.Saputro◆MEXICO＝R.Espinoza、J.Gonzalez◆POLAND＝P.Jankowski、J.Paul、R.Duda、M.Adamczewski、R.Oset、W.Sochacki、C.Kobylecki◆ISRAEL＝A.Averbuch、V.Litichevsky◆ARGENTINA＝W.Cuestas、G.Canosa◆TURKEY＝G.Bilginer、M.Adalioglu、Y.Dogan、K.Urcan、G.Gunay、E.Gumus、E.Ozhalbant、D.Akdogan、T.Ozarslan、H.Sayilkan、C.Tonguc、S.Baylancicek、K.Yavuz、A.Arafat、E.Urcan、E.Zeren、L.Ozcelik、C.Polat◆BULGARIA＝D.Petkov、K.Ninov、N.Dikov、M.Karayotova◆SERBIA＝D.Blagojevic、N.Radojlovic◆GERMANY＝F.Dedovic、T.Puetz、J.Riedel、G.Bonaccorso、T.Mirski、A.Kompa、M.Gleiss、J.Marchese◆SINGAPORE＝謝思曲、K.Sunwar、D.Gurung、M.Rai、U.Magar◆ITALY＝M.Niedda、G.Troffa◆UKRAINE＝A.Voznyuk、I.Vasylijev、S.Duchev◆GREECE＝V.Serbezov、I.Panagopoulos

【初段】

◆本部道場＝岩越則夫、楠美奈生、D.Ye◆よみうりカルチャー恵比寿＝野村正倫◆よみうりカルチャー横浜＝新藤裕二◆よみうりカルチャー川口＝加藤雅己、鈴木宏昌◆蓮田合気会＝関弘敏、高橋衛◆合気道国際平和文化交流倶楽部＝L.Ilya、P.Sergei◆友志館＝石渡諒、菊池征祐、佐藤貴紀◆高知合気道グループ＝尾原秀一◆瀧田塾＝田中稔◆相生会優志会＝ジェー・ビー・ターラカ・メンタ◆尾張合気会＝服部篤、照井志野、照井啓佑◆合気道藤流館＝加藤勝幸◆合気道稽古会美健会＝鈴木慶心◆合気道京都＝T.Fried◆長野至水会安曇野支部＝倉澤央、下川聖斗◆合気道越谷道場＝M.Grosshennig◆横浜ベイサイド合気会＝吉見創動◆沖縄合気会＝富塚祐子、渡部陽子、池間健晴◆合気道神武錬成塾＝小林角由、橋本裕美子◆熊野塾＝G.Monika、S.Denis、S.Yuriy、H.Gihir、B.Florent、L.Herve、W.Alois、W.Sabine、E.Marita、R.Fabrice、V.Monica、C.Cyril、D.Jean、S.Marek、S.Evgeniy、S.Andrey、K.Vladimir、B.Nikolay、A.Aleksandr、G.Ayrat、N.Fairuz、T.Ruslan、G.Jose、L.Marc、T.Rolf◆群馬合気会＝深澤健也◆月窓寺道場＝安田知代、大橋綾子◆合気道北平塾＝飯塚真志、林哲治、白石敦也、安達彩加、森田富美、小藤一郎、長田泰志、奥村裕二◆広島合気会＝加藤貴子◆江戸川合気会＝冨田佳世子◆港区合気会＝井上あかね、松本謙一◆合気道佐久道場＝大井優果、長尾総則◆長崎合気道会＝大和英子、福島利家、中村文俊、山口元、ラーゼン・レイチエル珠里亜◆合気道鹿児島道場＝吉峯勝一◆春日井道場＝田口歩◆小山合気会＝関根幹世、B.William◆小田急相模原合気道教室＝田中是睦◆小林道場＝I.Zunaidi、M.

Nathania、H.Tetuko、A.Sconardo、D.Hendromurti、M.Ardabili、R.Wulandari◆尚武館＝浅尾和範◆祥平塾＝藤田昭治、橋本香織、杉本由香理、金智弘、井手口栄太、古賀直枝、横田哲哉、高柳知子、高倉清、定行啓太、中津留尚子、工藤慎也、首藤綾佳◆城東誠和会＝勢島幸◆相生会神戸三田道場＝天野聖子、天野貴典◆神武館＝森口裕貴◆正心会＝森涼子、宮尾めぐみ、ヨルキノフ・オタバック◆合気道唯心館杉野道場＝斉藤悦子、斉藤清彦◆船橋合気会＝松尾康則◆祖師谷合気会＝小藤直輝◆多田塾＝土井輝崇、伊藤謙二、酒井浩、北山将史、坂井栄司◆大阪合気会＝大瀧哲士、松村光庸、黒岩英樹、黒岩恵理子、西垣太貴◆大阪武育会＝福井智美、今西直美、田口聖也、山口耕治、G.Bonacara、C.Pulvirenti、P.Malangone、D.Luigi、F.Crescia、I.Nisi、G.Angelis、L.Giuffrida、J.Kohl、K.Kohl、Y.Zimprich、K.Martin、M.Tornow、M.Brueer、S.Milosevic◆中央区合気会＝中村雅代、鈴木望美、永松繁隆、濱田美紀◆中野区合気道会＝戸塚基司◆長岡市合気会＝渡辺晃弘、大関康雄◆天之武産合気塾＝田中宏美、藤原裕大◆合気道道文館＝水野友和、山本京香◆八千代合気会＝清瀬慎一◆富士通＝高橋伸雄◆朋清会＝松本みづき◆豊中正泉寺道場＝吉川富士子、小森希久子、鈴木明子◆合気道黒石塾＝赤木美智子、阿比留功太◆今治合気会＝山脇功◆緑水会＝宮坂尚吾、中間雄一郎、永野英明◆和氣會＝竹縄宗茂◆合気道と光道場＝北嶋健司、片山朋子、大塚朋廣◆萬葉塾＝飯野文菜、太田賢虎◆一宮中日文化センター合気道教室＝瀧弘貴◆堀越道場＝R.Pavilaynen、S.Borovitskii、F.Terekhov◆T.A.C.TOKYOAMERICANCLUB＝藤井一毅、J.Kraft◆鷹来合気道場＝荒木和作◆城山合気会＝亀井さくら◆七曜会＝吉田佳世、菅谷祥生◆成城合気道クラブ＝森下知、佐藤理恵、北村智史◆五十嵐道場＝N.Lombardi◆道学館＝井上智耶、村澤将希◆正心会市川行徳道場＝山形ジェフ◆仲池合気道同好会＝鳥谷部明浩◆越心館＝古川勝美◆新川塾＝小瀧航平、林七海◆つくば合気道会＝山本節子◆東海合気会＝石田秀治◆合気道と達の会鳴尾道場＝白井隆之◆千住合気会＝山口龍矢◆合気道西神道場＝田中敦◆広島県立西条農業高等学校＝上田凌平、藤原隆佐、片山ひなの、福島あさき、元岡未佐、沖中祥穂、船倉美和、陰浦杏子、柏田奈美、片山奈々世、海野真輝、土岐聖、中村みなみ、花谷朋香、児玉修一、玉田拓也、高田真由美、豊川悠加、青木千咲、柿田彪我、三宅和人◆大阪府立春日丘高等学校＝岩崎智樹、遠上麻奈実、太田峻樹、沢田弘一、蔦野拓海、橋本彩那、藤井亮祐、藤原志緒、松村千里、村上温美◆大阪府立四条畷高等学校＝岡崎美々夏、川上真凜、加藤葉月、田原幹久、森實美里◆大阪府立池田高等学校＝池上聡宣、和泉麻衣子、井手昭佳、小倉颯太、落合桜子、川室芙美香、岸本海、小東沙恵那、是國明星、杉本晟一、高木宏祐、高山こころ、寺内彩絵、中野花子、樋口慎、村崎淳一、森章登◆大阪府立北野高等学校＝阿形健一、大高史也、片山和紬、河盛真波、島田彩夏、戸城達行、長瀬由佳、西田成佑、布浦康平、林勇樹、南拓也、森脇早紀、吉田日菜子◆大阪府立日根野高等学校＝矢倉珠実、大和亮太◆専修大学松戸高等学校＝石塚政志、海野諒、栗山卓、田村和也、樋口雄二郎、水野直哉、安部田知紘、海老原紗衣◆大阪府立大手前高等学校＝赤井亮太、表利菜、大江正志、梯雄一郎、木村梨乃、佐藤慎悟、篠崎秀太、清水浩毅、高倉隆大、高橋悠希、田畑杏菜、田畑蒼一朗、長井大誠、八木彩華◆大阪府立桜塚高等学校＝酒林雄介、佐伯僚、田畑翔太郎、横井克典、平井拓実◆帝塚山大学＝小松有之、上畠翔大、内間直人◆愛媛大学医学部＝木村絵璃子、下山佳織、丹啓紀、(5面に続く)